

## 令和7年度放課後等デイサービス 職員向け評価アンケート 実施報告

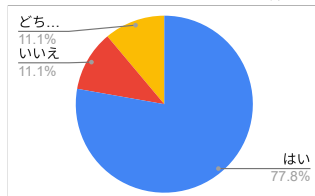
### 1. 実施概要

実施事業者/事業所： 株式会社Kaien ティーンズ関内  
 実施期間： 令和7年10月1日～10月31日  
 回答者： 放課後等デイサービススタッフ  
 回答者数： 9 名  
 回答率： 100.0 %

### 2. 回答結果

#### ①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか

はい 7 名  
 いいえ 1 名  
 どちらともいえない 1 名

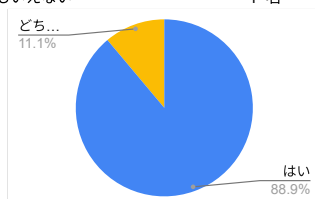


※①に関して改善目標、工夫している点など

お子さん同士の相性が悪い（他害の可能性）場合は、1名相談室に案内して、個別対応している定員を守って受け入れています

#### ②職員の配置数は適切であるか

はい 8 名  
 いいえ 0 名  
 どちらともいえない 1 名

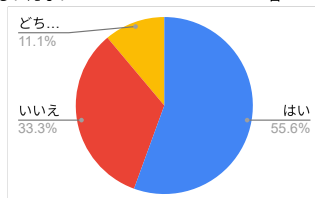


※②に関して改善目標、工夫している点など

お子さんのメンタル面の安定のためにスタッフ固定対応の時間帯（17:20～）確保しているが、その日の状況でや本来終了しているお子さんの切り替えが長引いて、スタッフ2：お子さん8になる時間が散見され、遊軍のスタッフが所内にいるときは、プラスで現場にその時間帯だけは入るようにしている。  
 欠勤がある場合には、適切な人員対応をしています。

#### ③事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか

はい 5 名  
 いいえ 3 名  
 どちらともいえない 1 名

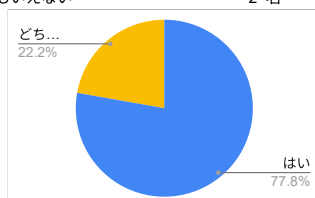


※③に関して改善目標、工夫している点など

フロアはフラットで、目が不自由な方には配慮した席をご用意しています。

#### ④業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか

はい 7 名  
 いいえ 0 名  
 どちらともいえない 2 名

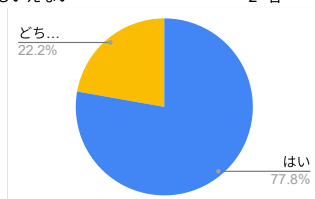


※④に関して改善目標、工夫している点など

計画、目標設定しているものの、定期的な振り返りは定着していない。スケジュール招待して実行につなげたい。  
 毎回振り返りの時間を充分にとって利用者様や業務の流れについての話を聞いて、次回に繋げています。

#### ⑤保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか

はい 7 名  
 いいえ 0 名  
 どちらともいえない 2 名

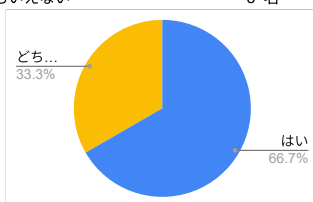


※⑤に関して改善目標、工夫している点など

連絡を受けた場合は早急に所内で検討し、対応をしている。  
 保護者の希望などをミーティングで情報共有しています。

⑥この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか

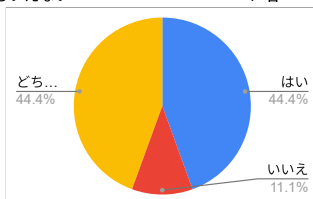
はい 6 名  
 いいえ 0 名  
 どちらともいえない 3 名



※⑥に関して改善目標、工夫している点など

⑦第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか

はい 4 名  
 いいえ 1 名  
 どちらともいえない 4 名



※⑦に関して改善目標、工夫している点など

⑧職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか

はい 9 名  
 いいえ 0 名  
 どちらともいえない 0 名

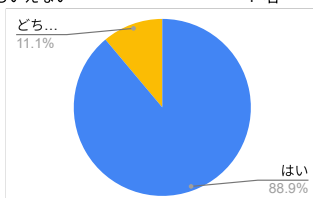


※⑧に関して改善目標、工夫している点など

外部研修の知らせを自治体やEva先で受けた際は、拠点やエリアスタッフに共有して、半年に1回を目標に拠点スタッフが参加できるように現場支援に協力したい。  
 定期的な研修が用意されています

⑨アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか

はい 8 名  
 いいえ 0 名  
 どちらともいえない 1 名

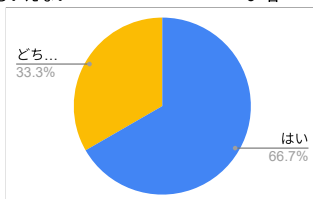


※⑨に関して改善目標、工夫している点など

発達検査、学校の成績書、他事業所の計画書のモニタリングを参考にしたり、関係機関連携で支援の方向性をすり合わせ、計画書に反映するようにしている。

⑩子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか

はい 6 名  
 いいえ 0 名  
 どちらともいえない 3 名

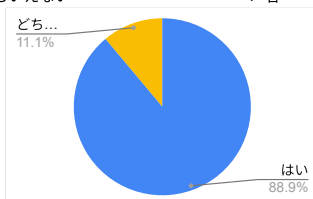


※⑩に関して改善目標、工夫している点など

お子さんたちのやりたいこと（ゲーム）とやるべきこと（自己理解等）をご本人と目標立てできるワークシートやツールを実験したい。まずは他拠点の成功事例を収集することから始めたい。

⑪活動プログラムの立案をチームで行っているか

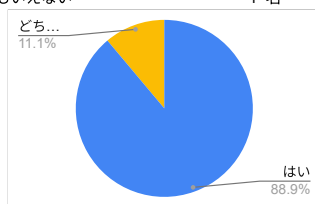
はい 8 名  
 いいえ 0 名  
 どちらともいえない 1 名



※⑪に関して改善目標、工夫している点など

⑫活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか

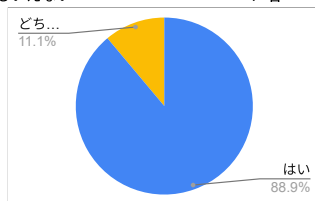
はい 8 名  
 いいえ 0 名  
 どちらともいえない 1 名



※⑫に関して改善目標、工夫している点など

⑬平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか

はい 8 名  
 いいえ 0 名  
 どちらともいえない 1 名



※⑬に関して改善目標、工夫している点など

⑭子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか

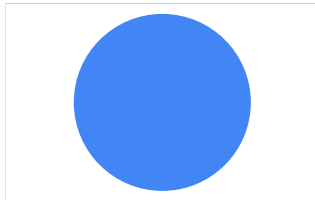
はい 9 名  
 いいえ 0 名  
 どちらともいえない 0 名



※⑭に関して改善目標、工夫している点など

⑮支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか

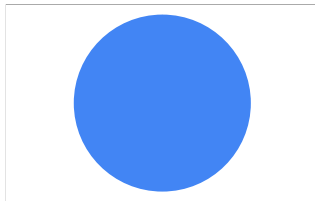
はい 9 名  
 いいえ 0 名  
 どちらともいえない 0 名



※⑮に関して改善目標、工夫している点など

⑯支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか

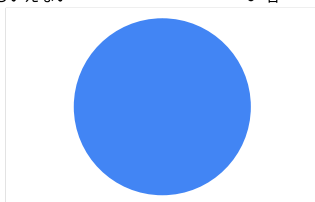
はい 9 名  
 いいえ 0 名  
 どちらともいえない 0 名



※⑯に関して改善目標、工夫している点など

⑰日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか

はい 9 名  
 いいえ 0 名  
 どちらともいえない 0 名

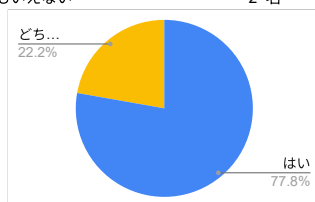


※⑰に関して改善目標、工夫している点など

AIを活用し、時間の短縮、要約

⑮定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか

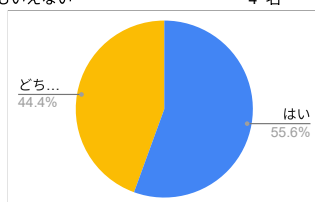
はい 7 名  
 いいえ 0 名  
 どちらともいえない 2 名



※⑮に関して改善目標、工夫している点など

⑯ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか

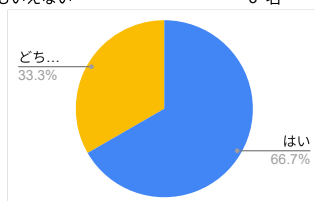
はい 5 名  
 いいえ 0 名  
 どちらともいえない 4 名



※⑯に関して改善目標、工夫している点など

⑰障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか

はい 6 名  
 いいえ 0 名  
 どちらともいえない 3 名

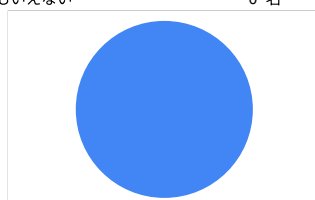


※⑰に関して改善目標、工夫している点など

担当者会議の機会はないが、計画相談のモニタリングや、サービス間の引継ぎは適宜、担当者または児発管で行っている。

21)学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか

はい 9 名  
 いいえ 0 名  
 どちらともいえない 0 名

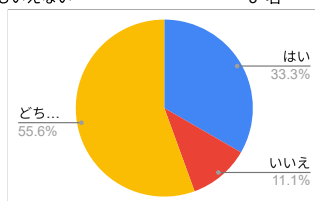


※21)に関して改善目標、工夫している点など

修学旅行の合理定期配慮、支援の方向性のすり合わせを適宜行っている。

22)医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか

はい 3 名  
 いいえ 1 名  
 どちらともいえない 5 名

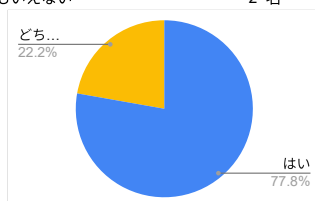


※22)に関して改善目標、工夫している点など

対象者がいない。医療ケア児以外でも、必要性のあるお子さんは医療連携を実施している。

23)就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか

はい 7 名  
 いいえ 0 名  
 どちらともいえない 2 名

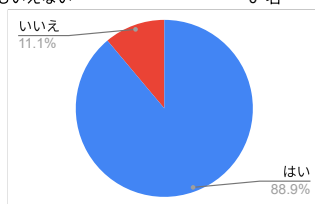


※23)に関して改善目標、工夫している点など

限定されている事業所ではあるが、相互に連絡を適宜取って、体験会や説明会を実施している。

24)学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか

はい 8 名  
いいえ 1 名  
どちらともいえない 0 名

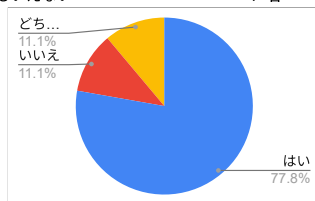


※24)に関して改善目標、工夫している点など

過去に事例はあるが、近年実施はしていない。保護者へ保護者面談や終了時の案内の際に情報提供し、希望を募る。

25)児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか

はい 7 名  
いいえ 1 名  
どちらともいえない 1 名

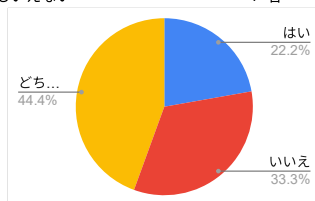


※25)に関して改善目標、工夫している点など

横浜市や神奈川県主催、区の自立支援協議会主催の研修に参加している。

26)放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか

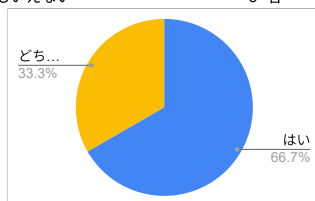
はい 2 名  
いいえ 3 名  
どちらともいえない 4 名



※26)に関して改善目標、工夫している点など

27) (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか

はい 6 名  
いいえ 0 名  
どちらともいえない 3 名



※27)に関して改善目標、工夫している点など

28)日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか

はい 9 名  
いいえ 0 名  
どちらともいえない 0 名

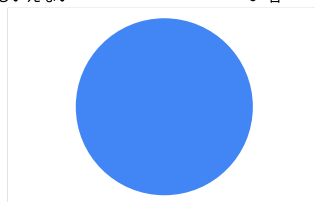


※28)に関して改善目標、工夫している点など

保護者面談（半年1回）の合間に、ペアトレに案内したり、関係機関連携を実施し、やりとりの頻度を増やしている。

29)保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか

はい 9 名  
いいえ 0 名  
どちらともいえない 0 名

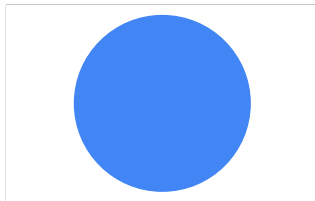


※29)に関して改善目標、工夫している点など

今年度は資料をリニューアル、案内を2か月前に行うことで、集客はよくなっている。集客の手順の徹底の継続、集客の際はテーマのサブタイトルをより魅力的にする必要はある。

30)運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか

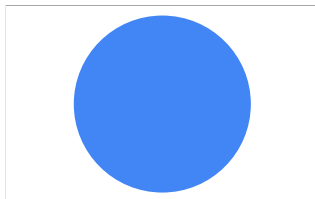
はい 9 名  
いいえ 0 名  
どちらともいえない 0 名



※30)に関して改善目標、工夫している点など

31)保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか

はい 9 名  
いいえ 0 名  
どちらともいえない 0 名

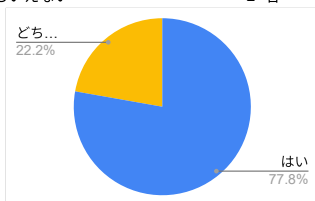


※31)に関して改善目標、工夫している点など

適宜ご希望時は面談設定や電話での聞き取り、対応の確認をする

32)父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか

はい 7 名  
いいえ 0 名  
どちらともいえない 2 名



※32)に関して改善目標、工夫している点など

ペアトレ実施の際に

33)子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか

はい 9 名  
いいえ 0 名  
どちらともいえない 0 名

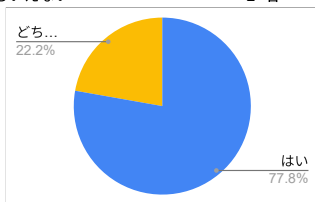


※33)に関して改善目標、工夫している点など

具体的な改善策案をメールで共有、面談時にも実物を見せて丁寧な説明をする。

34)定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか

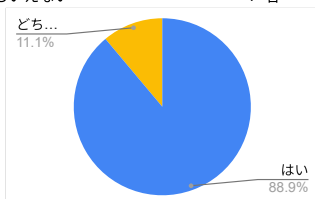
はい 7 名  
いいえ 0 名  
どちらともいえない 2 名



※34)に関して改善目標、工夫している点など

35)個人情報に十分注意しているか

はい 8 名  
いいえ 0 名  
どちらともいえない 1 名



※35)に関して改善目標、工夫している点など

営業時間終了間際の操作をやめること。凡事徹底すること。重要案件はWチェックを依頼する。個人情報保護研修に参加する。

36)障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか

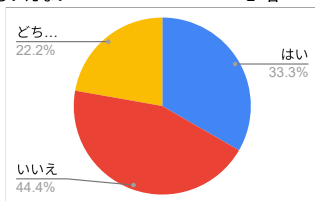
はい 9 名  
 いいえ 0 名  
 どちらともいえない 0 名



※36)に関して改善目標、工夫している点など

37)事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか

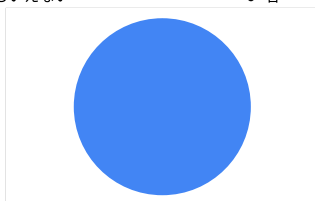
はい 3 名  
 いいえ 4 名  
 どちらともいえない 2 名



※37)に関して改善目標、工夫している点など

38)緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか

はい 9 名  
 いいえ 0 名  
 どちらともいえない 0 名



※38)に関して改善目標、工夫している点など

39)非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか

はい 9 名  
 いいえ 0 名  
 どちらともいえない 0 名



※39)に関して改善目標、工夫している点など

40)虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか

はい 9 名  
 いいえ 0 名  
 どちらともいえない 0 名

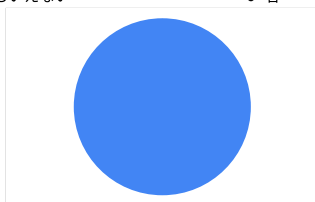


※40)に関して改善目標、工夫している点など

社内研修に加え、社外研修に管理茶：児発管で参加、所内に資料共有、取り入れられそうなアイデアを提案、実験してみる

41)どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか

はい 9 名  
 いいえ 0 名  
 どちらともいえない 0 名

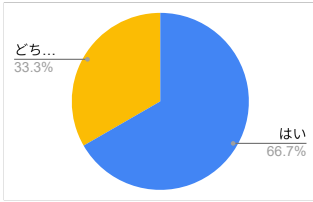


※41)に関して改善目標、工夫している点など

「拘束かもしれない」事案は所内でヒヤリハット報告し、対応策を検討、実施中

42)食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか

はい 6 名  
いいえ 0 名  
どちらともいえない 3 名



※42)に関して改善目標、工夫している点など

機会がない。クッキングの行事の前に、使用食品の事前告知し、注意喚起する。参加者にアレルギーアンケートを実施、情報提供を依頼し、対応策を事前共有するようにしている。

43)ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか

はい 9 名  
いいえ 0 名  
どちらともいえない 0 名



※43)に関して改善目標、工夫している点など

個人情報保護に関する事例は、適宜「疑わしき事例」を朝会で共有、相互に注意喚起するようにしている。

3. 事業所考察

優先的に取り組む課題

1. スタッフ配置とメンタルケア

・ピークタイムのスタッフ配置を常時3名体制に見直し、定期的な個別面談やストレスチェックでメンタルヘルスをサポートします。欠勤時の人員補充体制も強化する。

2. 定期的な情報共有の定着化

・朝会でのケース検討会議を定例化し、タイムリーな情報共有を行う。振り返り結果はアクションプランに落とし込み、進捗を確認する仕組みを導入する。

3. 自己理解ツールの開発と活用

・他拠点の成功事例を参考にワークシートやツールを検討し、お子さんの意見を取り入れながら試行運用する。スタッフ向け研修も社内外の研修に積極的に参加し、支援の質を向上させる。

<総合評価>

・アンケート結果からは、日々の支援におけるきめ細やかな配慮と、課題解決に向けた具体的な意欲が伺えます。特に、**お子さんの安全確保や個別の対応、保護者連携、外部機関との連携など、多岐にわたる工夫**が見られる。

・一方で、**スタッフの負担軽減、業務の質向上、お子さんの主体性を引き出す支援の強化といった、組織的な改善が必要な課題**も明確になっています。これらの課題に優先的に取り組むことで、より質の高い放課後等デイサービスを提供することを目指す。

結果について、11月14日に事業所内会議にて、共有・討議を行った。保護者へのフィードバックを12月に実施、かつ事業所内に掲示した。